

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



| | |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリハット |
| 2. 体験した事例の名称 | はしごクレーン救出第二法訓練時、三連梯子横転について。 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 新人救助隊員の訓練時、三連梯子確保ロープを固定物に結着させたが、結着が不適切であったことから、救助ロープに荷重をかけた際に結着が解け、三連梯子が横転しそうになった。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 新人救助隊員のミスを含んだ訓練であったが、基本結索について誰もがミスをするを想定し、安全確認をせずに訓練を進めた事で発生した。 |

【体験した事例の直接的な原因について】



| | |
|------------------|---------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の実行に問題があった。 |
|------------------|---------------|

【体験した事例について】



| | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 発生日時 | 平成26年4月某日 午前10時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴れ |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外：消防署車庫前 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、他人を負傷させそうになった。 |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度) | 重傷の怪我をしていた(させていた)だろう |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか) | 激突 |
| 7. 事例体験時の活動 | 演習訓練、[救助(通常時)] |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか | 低所救助訓練 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



| | |
|-------------------|---|
| ○当事者A | 年齢[33]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[7]年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員] |
| ○当事者B | 年齢[40]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[13]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長] |
| ○当事者C | 年齢[40]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[11]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長] |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) | 当事者D、27歳、勤続3年、現場経験2年、消防副士長 |

11. 事例発生時の経過。



| | 誰が(何が) | なにをした | その他・備考など |
|------|--------|---------------------|----------|
| 経過1 | A | 梯子確保ロープ左側を固定物に結着した。 | |
| 経過2 | B | 救助ロープに荷重をかけた。 | |
| 経過3 | C | 救助ロープを確保していた。 | |
| 経過4 | D | 梯子確保ロープ右側を固定物に結着した。 | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |
| 経過11 | | | |
| 経過12 | | | |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思ふか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思ふか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d. 心身の不調があった。

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | はい |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・暑かった(寒かった)。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。) | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|---------|
| 安全確認不足。 |
|---------|

【事故発生後の取り組みについて】

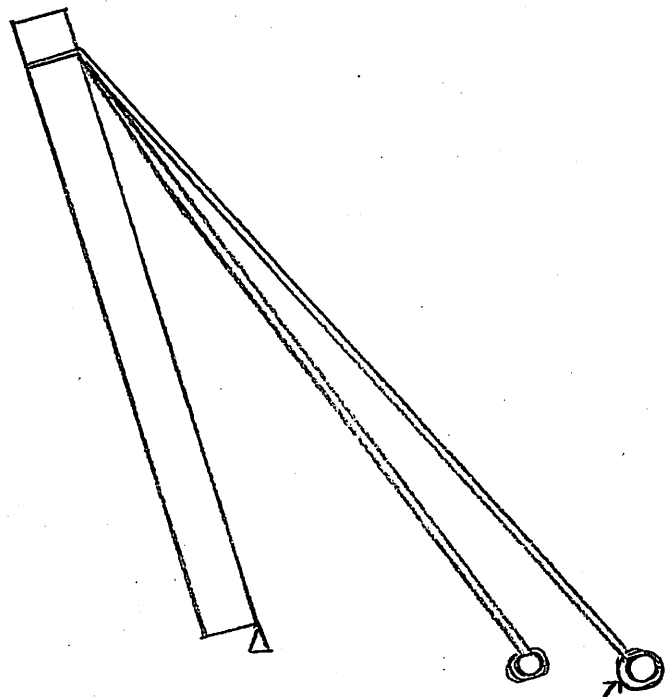


○注意力欠如、焦り等の対策について

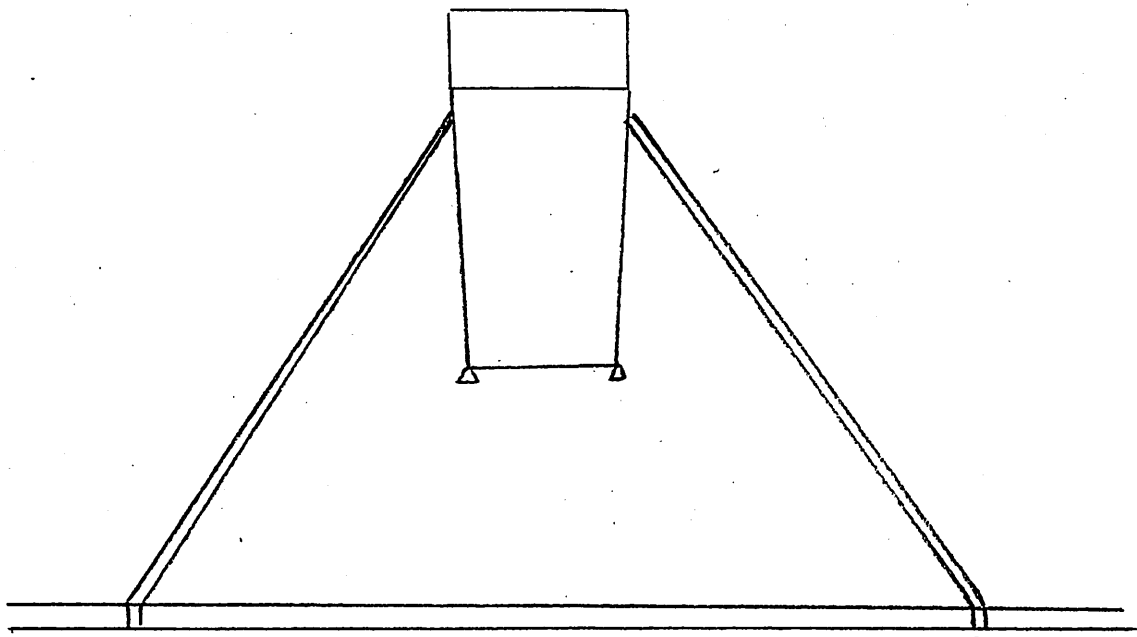
○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について



結着が解けた。



固定物

↑
結着が解けた